

平成28年度 地理B シラバス

沖縄県立南風原高等学校

教科名	科目名 (単位数)	教科書・副読本	学年
地理歴史	地理B (4単位)	「新詳地理B」 帝国書院	全 ク3 ラ 年 ス
		「地歴高等地図」 帝国書院	
		「世界の諸地域NOW 2015」 帝国書院	

1. 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うようにする。

2. 年間学習計画

学期	月	章	学習内容	学習のねらい	配当時間
一 学 期	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能		地球儀や様々な地図の活用及び地域調査などの活動を通して、地図の有用性に気づかせるとともに、地理的技能を身に付けさせる。		0
	4 月	1 章 地理情報と地図	①現代世界の地図	さまざまな時代や種類の地図の読図などの活動を通して人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性を理解する。	1
		②地図の種類とその利用	球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、地理的事象を捉える地理的技能を身につける。	2	
		③地理情報の地図化	地図情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気づき、地理的事象を捉える地理的技能を身につける。	2	
		2章 地図の活用と地域調査	調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色を捉える地理的技能を身につける。	2	
	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察		世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について理解させる。		0
	4 月 5 月 6 月	1 章 自然環境	①世界の地形	営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形の分布や成因を考察する。また、災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。	7
			②世界の気候	気候要素と気候因子の関係から、世界の気候の成り立ちを考察する。それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。	10
			③日本の自然の特徴と人々の生活	日本の地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに防災のあり方を考察する。	2
			④環境問題	世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を捉える。とくに地球温暖化、森林破壊、砂漠化について、事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策についても考察する。	5
学期	月	章	学習内容	学習のねらい	配当時間
			①産業の発達と変化	自然環境との関わりやグローバル化の視点から、産業の発達と変化について考察する。	1
			②世界の農林水産業	農業地域区分や現代世界の農林水産業の現状と課題、および世界の中での日本の農林水産業の課題を考察する。	7

一 学 期	6 月 ～ 7 月	2 章 資源と産業	③食料問題	世界の食料需給の地域的な偏りを理解し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考察する。	3			
			④世界のエネルギー・鉱産資源	エネルギー資源の特徴や利用と分布、鉱産資源の分布を捉える。	3			
			⑤資源・エネルギー問題	現代世界の資源・エネルギー問題を捉え、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。	3			
			⑥世界の工業	工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、および日本の工業の課題を考察する。	6			
			⑦第3次産業	現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特徴を考察する。	2			
			⑧世界を結ぶ交通・通信	交通や通信の発達による世界の一体化と地域差を考察する。	1			
			⑨現代世界の貿易と経済圏	世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。	2			
			二 学 期	9 月 ～ 10 月	3 章 人口・村落・都市	①世界の人口	世界の人口分布の特徴や動態、人口構成や人口転換のしくみを捉える。	2
						②人口問題	世界の人口問題を捉え、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察する。	3
③村落と都市	村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴について理解し、考察する。	4						
④都市・居住問題	世界の都市・居住問題を捉え、その要因と発生のしくみを、発展途上国、先進国、日本の事例で考察するとともに、都市・居住問題の解決には何が必要かを考察する。	4						
4 章 生活文化・民族・宗教	①生活文化	衣食住を取り上げ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について考察する。			2			
	②民族と宗教	民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて理解する。			3			
	③現代世界の国家	国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について理解する。			1			
	④民族・領土問題	現代世界の民族・領土問題を理解し、日本の民族や領土の課題、世界各地の民族の共生するための方策を考察する。			5			
第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察								
現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。					0			
1 1 月	界1の章 地域現代分世	①地域区分とは何か	地域概念や地域区分の目的や方法、意義を理解し、有用性に気づく。	1				
		②地域区分のさまざまなスケール	大地域と小地域のスケールによる違いを理解し、有用性に気づく。	1				
学期	月	章	学習内容	学習のねらい	配当時間			
			①地誌の考察方法	地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特徴ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察する方法、対照的または類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。	1			

二 学 期	1 1 月 ～ 1 2 月	2 章 現代世界 の諸地 域	②東アジア	東アジアの地形と気候、中国の民族と人口、中国や韓国の食生活と農業、工業化と経済発展について考察する。	8
			③東南アジア	東南アジア諸国の自然・歴史・文化・民族、農業とその変化、ASEANと工業、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して考察する。	5
			④南アジア	インドを中心とした南アジアの地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して考察する。	5
			⑤西アジアと中央アジア	乾燥帯が広がる自然環境の西アジアと中央アジアの自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。	6
			⑥北アフリカとサハラ以南のアフリカ	中近東文化と中南アフリカ文化の地域の気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。	4
			⑦ヨーロッパ	気候と大地、ヨーロッパの成り立ち、EUを中心とした地域の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業について理解し、これからのヨーロッパについて考察する。	6
三 学 期	1 月 ～ 2 月	3 章 現代世界と日本	⑧ロシア	亜寒帯が広がる自然環境のロシアの歴史と社会変化、変化した産業について理解し、極東ロシアと日本の結びつきについて考察する。	4
			⑨アングロアメリカ	自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界への経済的・文化的影響、アメリカと結びつきの強いカナダについて理解する。	6
			⑩ラテンアメリカ	自然環境や先住民の文明がスペインやポルトガルに植民地化された歴史的背景を踏まえ、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化・格差の実態などを理解する。	4
			⑪オセアニア	オセアニアの自然環境の特徴や移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきについて考察する。	4
				現代世界における日本の特徴について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探索する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて考察する。	2

3. 学習方法

- 授業は講義のほか、グループ学習や発表などさまざまな学習形態を用いていきます。積極的に取り組みましょう。
- 「地図を読む」「地図を作る」などの作業学習を通して、地域の特色を理解するようにしましょう。

4. 評価の方法及び評価資料

- 日々の授業態度やワークシート、宿題等の取り組み状況
- 中間・期末等の定期考査や小テスト等
- 夏休みや冬休み等の長期休業中の課題
- グループでの学習への貢献度、自分の考えをまとめる、発表これらをもとに総合的に判断し、評価を進めていきます。